

茨城県病院事業会計 決算説明資料

1	令和3年度決算について	1
2	年度別決算額（収益的収支）の推移	
	（1）本 庁	3
	（2）中央病院	4
	（3）こころの医療センター	5
	（4）こども病院	6
	（5）病院事業合計	7
3	一般会計繰入金の推移	8
	（参考）県立3病院の概要	9

# 1 令和3年度決算について

## (1) 令和3年度決算の概況

### 【収益的収支】

3病院合計で34億23百万円の純利益を計上。

(主な要因は新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保補助金44億89百万円の計上)

#### < 3病院の状況 >

- ・中央病院 → 純利益を計上 30億26百万円  
R2 : 12億97百万円 → R3 : 30億26百万円 (前年度比+17億29百万円)  
(新型コロナウイルス感染症患者受入に伴う病床確保補助金の増)
- ・こころの医療センター → 純利益を計上 2億10百万円  
R2 : 67百万円 → R3 : 2億10百万円 (前年度比+1億43百万円)  
(新型コロナウイルス感染症患者受入に伴う病床確保補助金の増)
- ・こども病院 → 純利益を計上 1億87百万円  
R2 : 2億5百万円 → R3 : 1億87百万円 (前年度比△18百万円)  
(入院患者数の減等に伴う入院収益の減)

## (2) 一般会計繰入金

新型コロナウイルス感染症対策経費に係る繰入等により前年度比4億61百万円増額し、総額60億62百万円

### 【参考1】収支状況 (前年度比較)

(単位：百万円)

	中央病院		こころの医療センター		こども病院			3病院合計	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R3 (参考) ※2	R2	R3
(1) 収益的収支	1,297	3,026	67	210	205	187	187	1,569	3,423
収益的収入	20,330	22,100	4,064	4,332	1,460	1,487	6,319	25,854	27,919
医業収益	13,946	14,549	2,900	2,830	36	42	4,565	16,882	17,421
病床確保補助金	2,813	3,845	70	426	53	218	218	2,936	4,489
収益的支出	19,033	19,074	3,997	4,122	1,255	1,300	6,132	24,285	24,496
医業費用	18,123	18,220	3,860	3,977	1,186	1,226	6,058	23,169	23,423
(2) 資本的収支	△856	△841	△141	△152	△285	△311	△311	△1,282	△1,304
(3) 資金収支(※1)	1,363	2,687	80	244	6	△56	△56	1,449	2,875

※1：非資金（減価償却費や引当金等の実際の資金の増減を伴わないもの）を除く収益的収支と資本的収支を連結したキャッシュベースでの収支。

※2：病院全体の状況を表すため、県及び指定管理者の数値を合算したもの。

## 【参考2】繰入金（前年度比較）

（単位：百万円）

	中央病院		こころの医療センター		こども病院		本庁		合計	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
医療分(※3)	2,520	2,870	1,041	1,105	1,331	1,424	111	99	5,003	5,498
新型コロナ対策(※4)	171	366	8	7	-	80	-	-	179	453
教育・研修事業分(※5)	460	426	71	71	67	67	-	-	598	564
合計	2,980	3,296	1,112	1,176	1,398	1,491	111	99	5,601	6,062
増減		316		64		93		△12		461

※3：救急医療、精神、小児など政策医療の提供に要する経費、建物等の償還金のうち国の繰出基準に該当する経費、病院局設置前の一般会計在職期間等に係る退職給与金などに対する繰入金。

※4：新型コロナウイルス感染症患者受入に伴う医療従事者応援金相当額、機器整備費等（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象）に対する繰入金。

※5：研修医の指導医人件費など、医療人材の教育や研修に要する経費に対する繰入金。

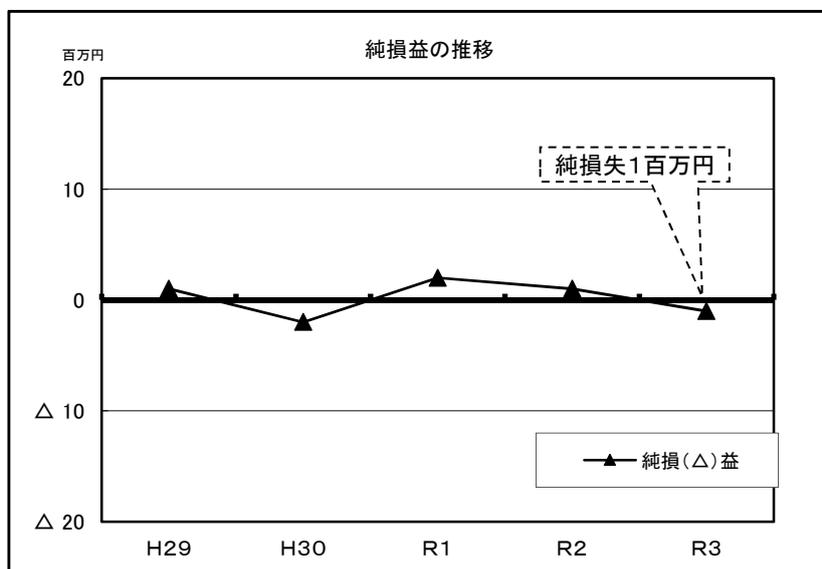
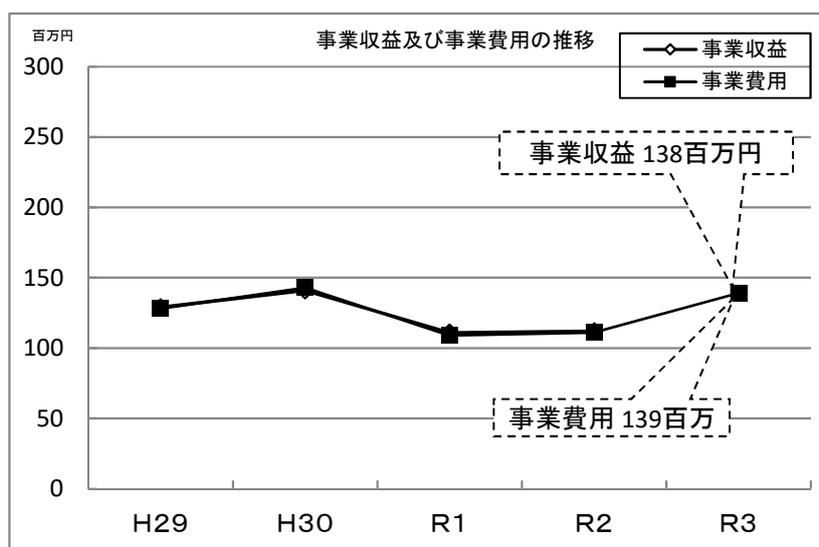
## 2 年度別決算額(収益的収支)の推移

### (1) 本庁事業

#### ① 決算額の推移

(単位:百万円)

項目 \ 年度	H29	H30	R1	R2	R3
事業収益	129	141	111	112	138
事業費用	128	143	109	111	139
純損(△)益	1	△ 2	2	1	△ 1
利益剰余金 (△繰越欠損金)	5	3	5	6	5
収益的収支繰入金	127	137	111	111	99
資金収支	3	4	10	10	△ 12



## (2) 中央病院事業

### ① 決算額の推移

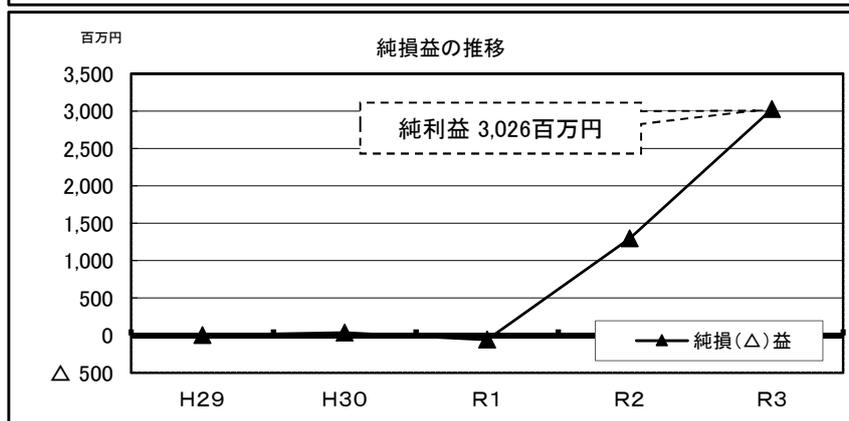
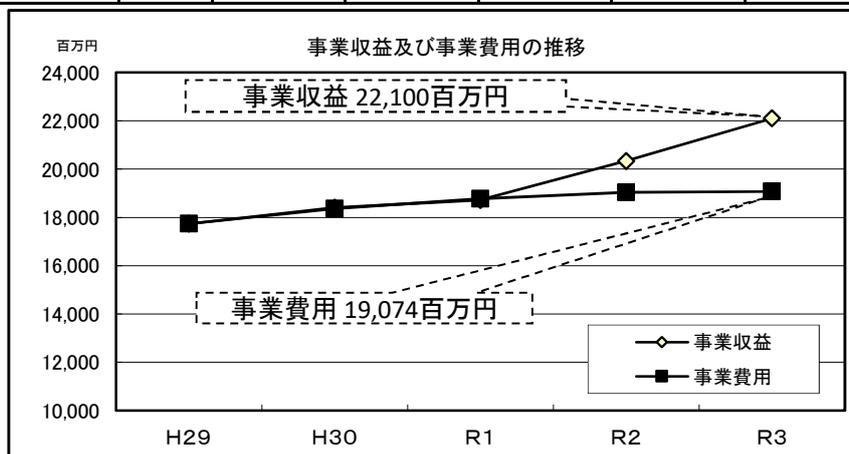
(単位: 百万円)

項目 \ 年度	H29	H30	R1	R2	R3
事業収益	17,740	18,405	18,716	20,330	22,100
事業費用	17,736	18,367	18,775	19,032	19,074
純損(△)益	4	38	△ 59	1,298	3,026
利益剰余金 (△繰越欠損金)	△ 2,810	△ 2,772	△ 2,831	△ 1,533	1,493
収益的収支繰入金	1,677	2,286	2,208	2,356	2,390
資金収支	△ 307	△ 45	△ 415	1,363	2,687

### ② 1日当たり患者数及び診療単価の推移

(単位: 人, 円)

区分 \ 年度	H29	H30	R1	R2	R3	
患者数 (1日当たり)	入院	407	400	395	313	316
	外来	1,045	1,046	1,013	869	957
診療 単価	入院	64,244	64,873	66,523	72,662	74,349
	外来	20,389	21,710	23,366	25,233	24,520



### (3)こころの医療センター事業

#### ①決算額の推移

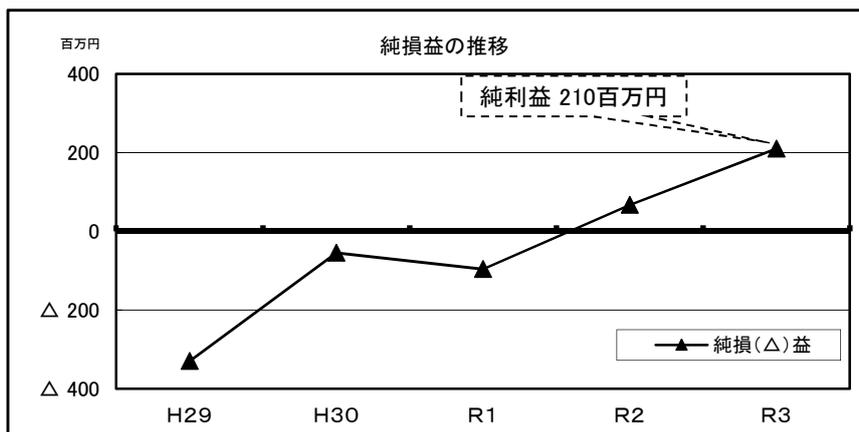
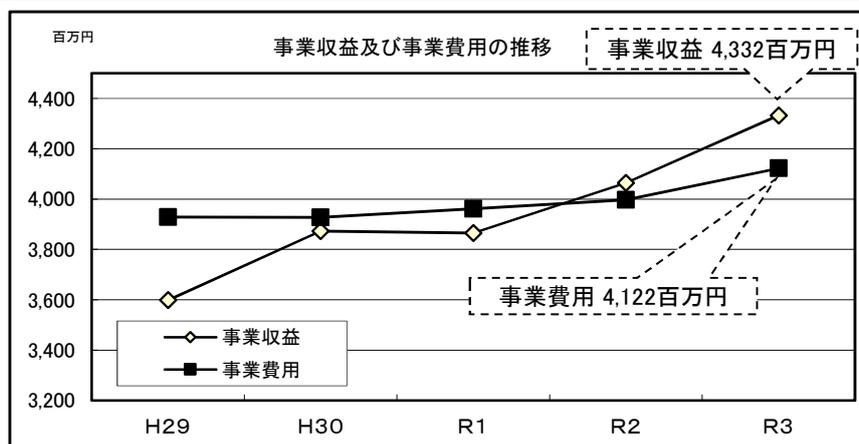
(単位:百万円)

項目	年度	H29	H30	R1	R2	R3
事業収益		3,598	3,872	3,865	4,064	4,332
事業費用		3,928	3,927	3,961	3,997	4,122
純損(△)益		△ 330	△ 55	△ 96	67	210
利益剰余金 (△繰越欠損金)		△ 2,934	△ 2,989	△ 3,086	△ 3,019	△ 2,809
収益的収支繰入金		896	1,038	994	970	1,023
資金収支		△ 74	48	△ 126	80	244

#### ②1日当たり患者数及び診療単価の推移

(単位:人,円)

区分	年度	H29	H30	R1	R2	R3
患者数 (1日当たり)	入院	218	227	217	216	201
	外来	291	291	297	291	284
診療 単価	入院	25,187	25,509	26,501	26,987	27,803
	外来	7,124	7,246	7,409	7,344	7,305



## (4) ことども病院事業

### ① 決算額の推移

(単位: 百万円)

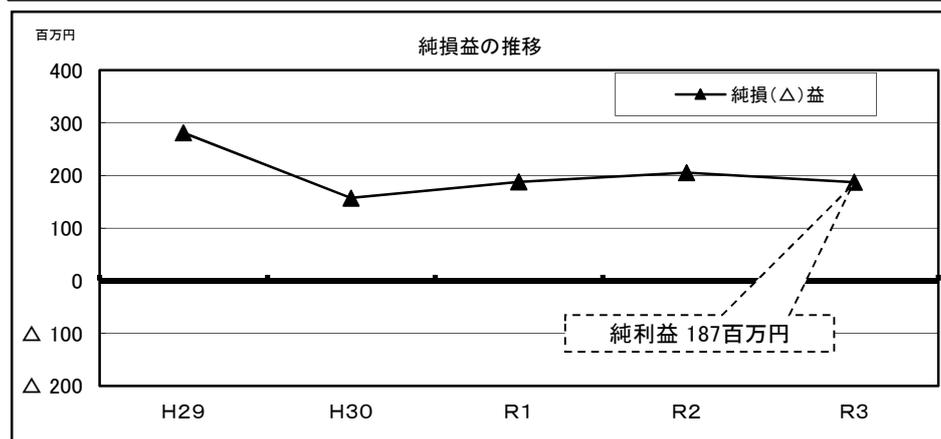
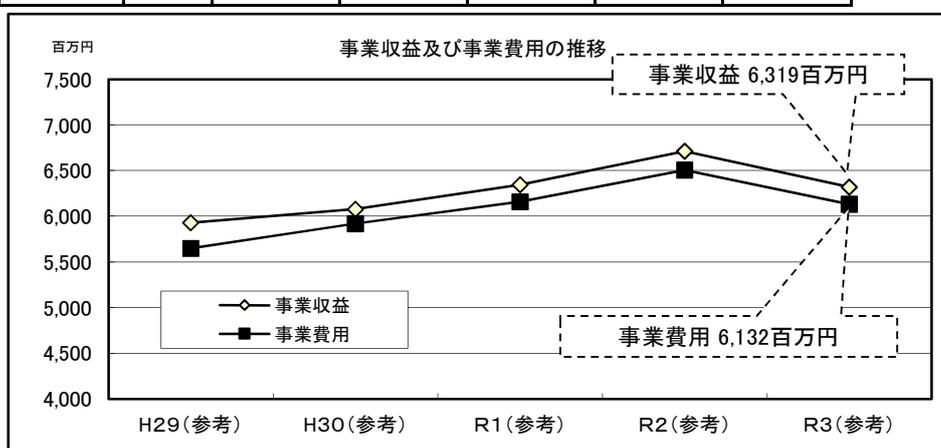
項目 \ 年度	H29	H30	R1	R2	R3	R3(参考)
事業収益	1,454	1,300	1,460	1,460	1,487	6,319
事業費用	1,173	1,143	1,272	1,255	1,300	6,132
純損(△)益	281	157	188	205	187	187
利益剰余金 (△繰越欠損金)	1,931	1,845	1,738	1,639	1,826	1,826
収益的収支繰入金	970	1,031	1,030	1,035	1,019	1,019
資金収支	241	147	△ 28	6	△ 56	△ 56

※(参考): 病院全体の状況を表すため、県及び指定管理者の数値を合算したものの。

### ② 1日当たり患者数及び診療単価の推移

(単位: 人, 円)

区分 \ 年度		H29	H30	R1	R2	R3
患者数 (1日当たり)	入院	104	105	102	97	90
	外来	179	181	187	160	184
診療 単価	入院	86,891	93,100	100,296	116,412	105,097
	外来	26,108	26,394	24,663	23,759	23,157



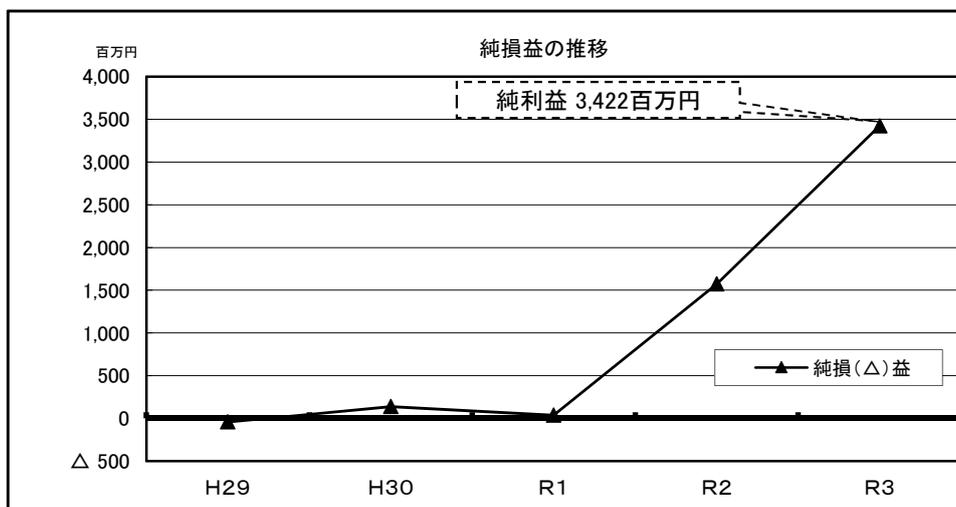
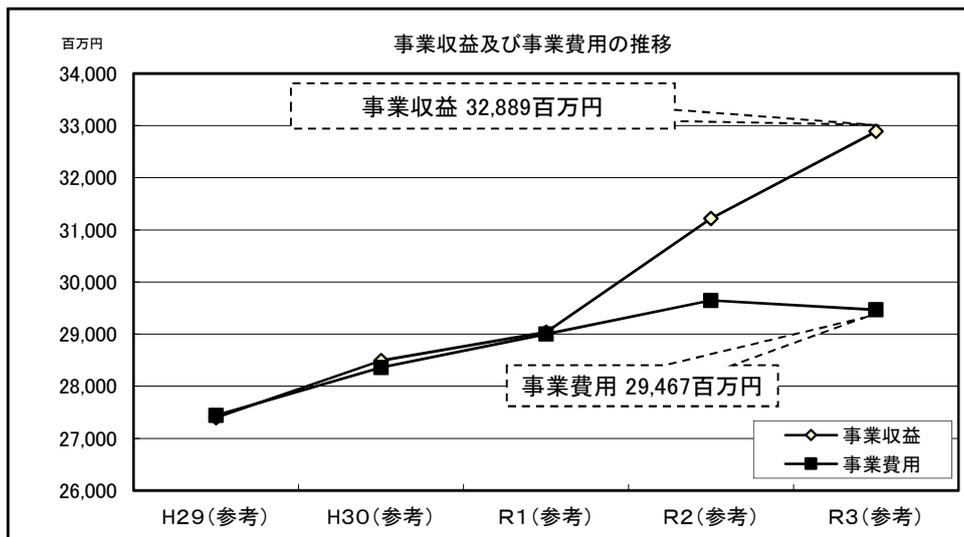
## (5) 病院事業合計

### ① 決算額の推移

(単位: 百万円)

項目 \ 年度	H29	H30	R1	R2	R3	R3(参考)
事業収益	22,921	23,718	24,152	25,966	28,057	32,889
事業費用	22,965	23,580	24,117	24,395	24,635	29,467
純損(△)益	△ 44	138	35	1,571	3,422	3,422
利益剰余金 (△繰越欠損金)	△ 3,808	△ 3,913	△ 4,174	△ 2,907	515	515
収益的収支繰入金	3,670	4,492	4,343	4,472	4,531	4,531
資金収支 (※)	△ 137	154	△ 559	1,459	2,863	2,863

※減価償却前の収益的収支と資本的収支を連結したキャッシュベースでの収支  
 ※R3(参考)は、病院全体の状況を表すため、県及び指定管理者の数値を合算したものの。



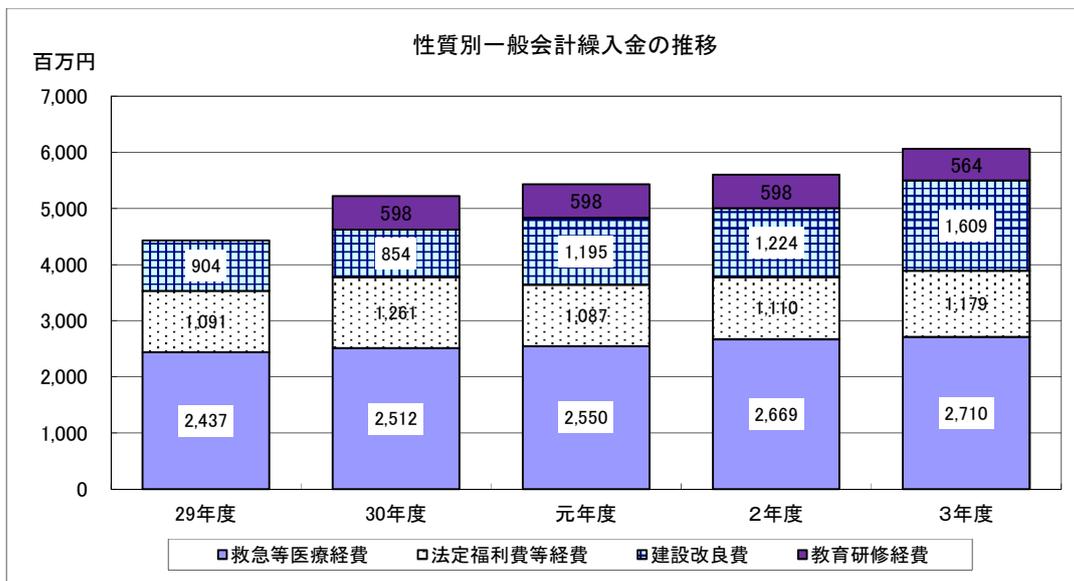
### 3 一般会計繰入金の推移

(単位:百万円)

年度	医療分					教育研修事業分	備考
	中央病院	こころ医セ (友部病院)	こども病院	本庁	合計		
18	1,645	1,409	1,287	341	4,682	-	地方公営企業法全部適用による本庁事業の設置
	-	(280)	-	-	(280)		
19	1,679	1,235	1,230	264	4,408	-	
	(66)	(290)	-	-	(356)		
20	2,104	1,177	1,314	274	4,869	-	
	(540)	(177)	-	-	(717)		
21	2,602	1,271	1,555	300	5,728	-	経済対策交付金の繰入(中央131、こども336、計467)
	(623)	(372)	-	-	(995)		
22	2,269	1,199	1,042	272	4,782	-	共済組合負担金率の上昇による法定福利経費の増(中央73、こころ4、計77)
	(179)	(311)	-	-	(490)		
23	2,190	1,025	1,052	260	4,527	-	退職者数の減に伴う退職給与経費の減(中央▲45、こころ▲185、計▲230)
	(134)	(126)	-	-	(260)		
24	2,055	1,087	986	221	4,349	-	共済組合負担金率の減等による法定福利経費の減(中央▲52、こころ▲24、計▲76)
	(58)	(156)	(5)	-	(219)		
25	2,011	1,205	879	204	4,299	-	給与カット相当分の減額による減(本庁▲10、中央▲30、こころ▲26、こども▲56、計▲122)
	(11)	(264)	(1)	-	(276)		
26	2,226	1,238	1,092	214	4,770	-	退職者数の増に伴う退職給付経費の増(中央140、こころ18、こども27 計185)
	(151)	(281)	(29)	-	(461)		
27	2,107	1,089	1,076	175	4,447	-	退職者数の減に伴う退職給付経費の減(中央▲74、こころ▲169、こども▲26 計▲269)
	(77)	(112)	(3)	-	(192)		
28	2,360	1,038	1,098	159	4,655	-	退職者数の増に伴う退職給付経費の増(中央221、こころ0、こども26 計247)
	(298)	(112)	(29)	-	(439)		
29	2,206	983	1,116	127	4,432	-	退職者数の減に伴う退職給付経費の減(中央▲265、こころ▲25、こども8 計▲282)
	(33)	(87)	(37)	-	(157)		
30	2,260	1,069	1,162	136	4,627	598	医師の教育・研修機能の充実強化に伴う教育研修経費の増(中央460、こころ71、こども67 計598)
	(186)	(132)	(18)	-	(336)		
1	2,345	1,061	1,315	111	4,832	598	企業債償還の増に伴う建設改良費の増(中央155、こころ35、こども150 計340)
	(117)	(93)	(3)	-	(213)		
2	2,520	1,041	1,331	111	5,003	598	新型コロナウイルス感染症対策経費に係る繰入金の増(中央171、こころ8 計179)
	(156)	(57)	(6)	-	(219)		
3	2,870	1,105	1,424	99	5,498	564	新型コロナウイルス感染症対策経費に係る繰入金の増(中央195、こころ▲1、こども80 計274)
	(175)	(121)	(1)	-	(297)		

上段:繰入額(収益的収入分+資本的収入分(原子力安全等推進基金等からの充当分を除く))

下段:うち退職給付金に要する繰入額



- 【救急等医療経費】: 救急医療、がん診療、結核医療、小児医療 など
- 【法定福利費等経費】: 退職給与、法定福利費、児童手当、本庁経費 など
- 【建設改良費】: 企業債元利償還金
- 【教育研修経費】: 指導医経費 など

県立3病院の概要

(令和4年9月1日現在)

病院名	中央病院	こころの医療センター	こども病院
所在地	笠間市鯉淵6528	笠間市旭町654	水戸市双葉台3丁目3番地の1
沿革	<p>昭和31年1月 茨城県立友部療養所開設</p> <p>32年10月 茨城県立中央病院と改称</p> <p>36年10月 産婦人科外7科開設し総合病院となる</p> <p>52年3月 救急告示病院に指定</p> <p>61年8月 改築工事着工 63年6月新病院開設</p> <p>平成5年4月 臨床研修病院に指定</p> <p>7年4月 地域がんセンター開設</p> <p>9年1月 災害拠点病院に指定</p> <p>9年4月 500床稼働</p> <p>9年6月 臓器移植法による臓器提供施設に該当</p> <p>11年12月 難病医療拠点病院の指定</p> <p>18年3月 PET/CT稼働開始</p> <p>19年1月 相談支援センター開設</p> <p>20年2月 都道府県がん診療連携拠点病院の指定</p> <p>20年12月 化学療法センター、透析センター開設</p> <p>21年4月 放射線検査センター開設、DPC導入</p> <p>21年8月 7:1看護基準取得</p> <p>22年3月 電子カルテシステム運用開始</p> <p>23年2月 救急センター開設</p> <p>23年4月 循環器センター開設、ヘリポート稼働開始</p> <p>23年5月 地域医療支援病院の承認</p> <p>25年5月 緩和ケア病棟の開設</p> <p>25年8月 強度変調放射線治療 (IMRT) の開始</p> <p>25年9月 ダヴィンチ手術の開始</p> <p>28年10月 助産施設に位置付け</p> <p>29年4月 歯科口腔外科開設</p> <p>30年1月 研修棟開所</p> <p>30年4月 専門研修プログラム基幹施設の認定 (内科、外科)</p> <p>30年10月 がんゲノム医療連携病院の指定</p> <p>令和2年12月 新型コロナウイルス感染症対応発熱外来棟 (仮設) 設置</p>	<p>昭和25年5月 茨城県立内原精神病院開設</p> <p>35年8月 茨城県立友部病院開設</p> <p>50年12月 デイ・ケアセンター竣工</p> <p>61年3月 レクリエーションセンター竣工</p> <p>平成元年10月 応急入院指定病院に指定</p> <p>7年8月 訪問学級開始 (友部東養護学校)</p> <p>8年10月 精神科救急業務開始 (休日・昼間)</p> <p>14年7月 児童思春期病棟開設</p> <p>16年3月 精神科救急 (平日夜間) 開始</p> <p>17年7月 医療観察法による鑑定入院医療機関の受入れ及び通院医療機関の指定</p> <p>19年4月 警察官通報に基づく自傷他害の恐れのある精神障害者の24時間365日措置入院対応開始</p> <p>20年8月 精神科救急入院科 (スーパー救急) の取得</p> <p>21年8月 新病院新築工事着工</p> <p>23年4月 福祉連携サービス部設置</p> <p>アウトリーチ (訪問支援) 活動の開始</p> <p>23年10月 新病院開院、医療観察法病棟稼働開始、電子カルテシステム運用開始</p> <p>24年10月 精神科ネットワーク医療連携の取組み開始</p> <p>26年8月 精神科救急病棟スーパー救急の拡充 (45→85床)</p> <p>27年4月 茨城県睡眠医療センター開設</p> <p>28年12月 茨城県立睡眠医療クリニックを水戸市大工町に開設、29年1月診療開始</p> <p>30年4月 専門研修プログラム基幹施設の認定 (精神科)</p> <p>令和3年3月 災害拠点精神科病院の指定</p> <p>4年3月 茨城県立睡眠医療クリニックを廃止</p>	<p>昭和60年4月 茨城県立こども病院開設</p> <p>63年3月 無菌室完成 (22.6㎡) 骨髄移植開始</p> <p>平成2年8月 臨床研修病院の指定</p> <p>7年9月 増床工事完了</p> <p>9年4月 100床稼働</p> <p>10年6月 臍帯血移植開始</p> <p>10年6月 心臓血管外科開設</p> <p>11年8月 ファミリーハウス運営開始</p> <p>16年8月 小児救急業務開始</p> <p>18年4月 恩賜財団済生会へ指定管理業務委託</p> <p>18年4月 発達障害外来開設</p> <p>19年4月 成育在宅支援室設置</p> <p>20年4月 予防接種センター開設</p> <p>21年5月 GCU増床 (24→27床)、108床稼働</p> <p>22年5月 ファミリーハウス新築棟運用開始</p> <p>22年6月 増築棟運用開始</p> <p>22年7月 脳神経外科手術の本格開始</p> <p>22年11月 NICU増床 (12→15床)</p> <p>23年2月 電子カルテシステム運用開始</p> <p>23年10月 115床稼働</p> <p>25年10月 リハビリテーション外来の開始</p> <p>26年1月 病院内共用スペースリニューアル工事の開始 28年1月 工事完成</p> <p>29年4月 専門研修プログラム基幹施設の認定 (小児科)</p> <p>30年1月 病床再編 (NICU15→18床、GCU24→18床、2階病棟76→79床)</p> <p>30年12月 ICU病床 (6床) 整備</p> <p>31年4月 小児整形外科開設</p> <p>令和1年11月 小児がん連携病院指定</p> <p>令和2年11月 地域医療支援病院の承認</p>
病院的機能	<p>全県域を対象として、他の公立、公的、民間病院等との連携協力と役割分担をしながら、地域がんセンターを併設し、難治性がんなどの高度医療を提供するとともに、へき地医療、結核医療及び救急医療の提供を行っている。</p> <p>また、臨床研修指定病院として、研修医師の受入れや看護学生の実習への協力を行っている。</p>	<p>精神医療の基幹病院として、精神障害者の診断治療から社会復帰までの一貫した医療を提供すると共に、政策医療として、精神科救急医療、児童・思春期精神医療の実施や医療観察法に基づく鑑定入院患者、指定入院患者及び指定通院患者の受け入れを行っている。</p> <p>また、外来患者への精神科デイケアを行っている。</p>	<p>本県における小児医療の中核的な専門病院として、低出生体重児・新生児及び乳幼児の重篤・難治な患者に対する医療の提供、小児白血病等への骨髄移植や臍帯血移植の実施や小児心臓血管外科による小児開心手術を行っている。</p> <p>また、平成16年8月から小児救急医療拠点病院として小児の救急医療に対応している。</p>
病床数及び職員数	<p>病床数 500床</p> <p>職員数 1,307名 (R4.3.31現在)</p>	<p>病床数 276床</p> <p>職員数 314名 (R4.3.31現在)</p>	<p>病床数 115床</p> <p>職員数 303名 (R4.3.31現在)</p>
診療科目	<p>内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、血液内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、循環器外科、血管外科、心臓血管外科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、病理診断科、脳神経外科、麻酔科、精神科、リウマチ科、歯科口腔外科</p> <p>※小児科は、H18.6より入院のみ休止</p>	<p>精神科、児童精神科、心療内科、神経内科</p>	<p>小児内科、新生児内科、小児血液腫瘍内科、小児循環器内科、小児神経心療内科、小児内分泌・代謝内科、小児感染症内科、小児腎臓内科、小児アレルギー科、小児救急科、小児外科、新生児外科、小児泌尿器科、小児脳神経外科、心臓血管外科、小児形成外科、小児整形外科、麻酔科、放射線科</p>
経営状況 (令和3年度決算)	<p>総収益：22,099,785千円 総費用：19,073,637千円                  (一般会計繰入金(収益的収入分)：2,389,645千円)                  差引純利益 3,026,148千円 利益剰余金 1,493,579千円                  患者数 入院：1日平均316人 病床利用率(一般) 64.9%                  外来：1日平均957人</p>	<p>総収益：4,332,422千円 総費用：4,122,235千円                  (一般会計繰入金(収益的収入分)：1,023,280千円)                  差引純利益 210,187千円 累積欠損金 2,808,781千円                  患者数 入院：1日平均201人 病床利用率72.7%                  外来：1日平均284人</p>	<p>総収益：1,487,346千円 総費用：1,300,619千円                  (一般会計繰入金(収益的収入分)：1,019,446千円)                  差引純利益 186,727千円 利益剰余金 516,936千円                  患者数 入院：1日平均90人 病床利用率78.6%                  外来：1日平均184人</p>